



第87期 株主通信

2023年4月1日から2024年3月31日まで

株式会社大本組

証券コード：1793

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第87期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。

今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **三宅 啓一**



■ 第87期の業績について

第87期(2024年3月期)における建設業界は、公共投資が引き続き堅調に推移し民間設備投資にも持ち直しの動きが見られたものの、建設資材価格の高止まりや供給制限などにより、厳しい収益環境で推移しました。

こうした中、当社は、技術力、提案力等の総合力の更なる向上と安定的な収益基盤の構築を目指して積極的な営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、売上高は前期比12.1%減の830億60百万円、受注高は前期比10.0%減の774億2百万円となりましたが、利益面では営業利益が前期比190.6%増の16億86百万円、経常利益が前期比126.8%増の19億27百万円、当期純利益は前期比97.9%増の10億21百万円となりました。

■ 第88期の見通しについて

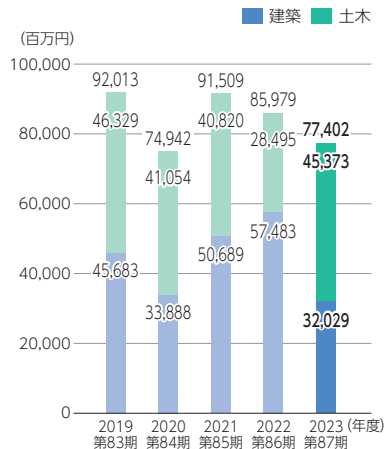
第88期(2025年3月期)におきましては、当社はリスク管理を徹底し、これまで築いてきた信用と健全な財務力などを一層強化するとともに、人材育成に注力し、事業環境の変化に柔軟に対応できるよう、引き続き総合力の更なる向上を図ってまいります。

また、当社は会社設立第100期にあたる2036年度に向けた「長期ビジョン2036」及びその実現に向けたフェーズ1としての「中期経営計画（2024～2026年度）」を策定しました。本計画の達成に向け、収益基盤の強化を最優先としつつ、事業戦略、財務・資本戦略、非財務戦略それぞれの推進に全社を挙げて取り組み、企業価値の更なる向上に努めてまいります。

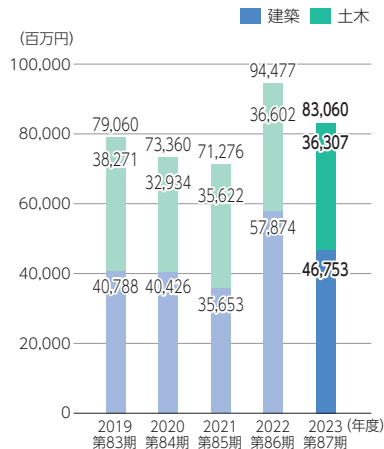
2024年6月

財務ハイライト

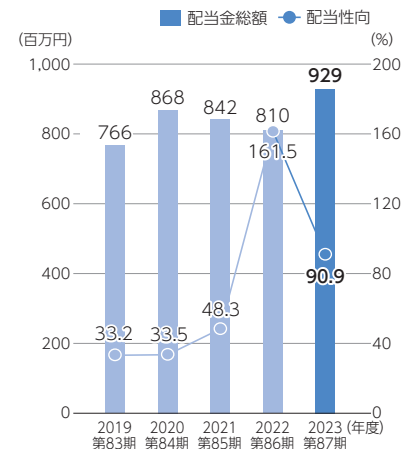
受注高



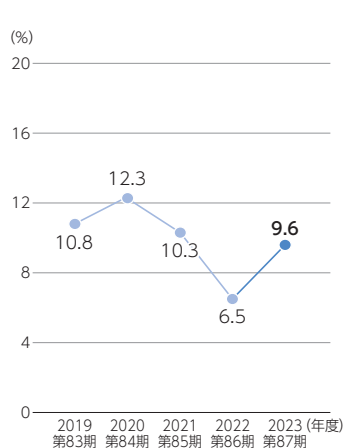
売上高



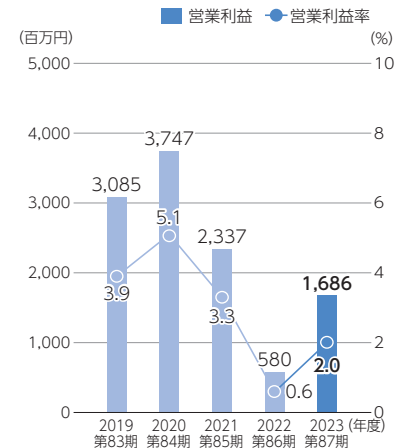
配当金総額・配当性向



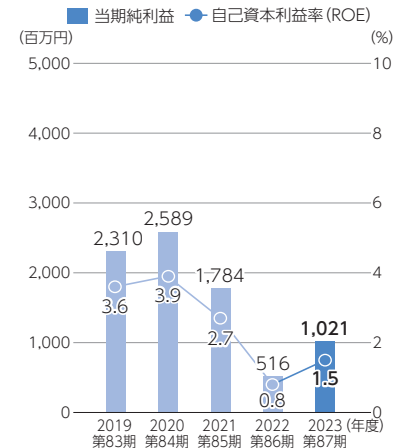
売上高総利益率



営業利益・営業利益率



当期純利益・自己資本利益率 (ROE)



決算短信全文はこちらをご参照ください。▶ https://www.ohmoto.co.jp/kessan/k_tansin.html



主な完成工事

〈建築部門〉



長井市公共複合施設新築工事



GLP上尾プロジェクト



THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA新築工事



株式会社メディセオ 阪神ALC新築工事

〈土木部門〉



泉区本田町宅地造成工事



公共 河川激特工事(芳野橋下部工)



令和3—4年度 牟岐BP大谷第1トンネル工事



令和5年度川内港(唐浜地区)岸壁(-12m)ケーソン製作外1件工事

取り組み

01 大型最先端物流施設

GLP上尾プロジェクト



モノの流れの拠点となるだけでなく、地域の営みや就労者の日常が「みどり」のシークエンスで豊かに繋がり合う、施設づくり。

① バイオフィリックデザインの導入

バイオフィリックデザイン：人間の持つ「自然を好む性質」を利用し、自然環境を取り入れた設計デザイン手法。執務環境に取り入れることにより生産性6%、創造性15%、幸福度15%向上させる効果を持つといわれています。

② 利用者・地域へ寄与する環境づくり

緑や自然界の要素を、屋内外に取り入れることにより、就労者のストレス緩和、パフォーマンスの向上や、地域住民のWellへ寄与します。

③ 緑の顔

「みどり」が、外構→エントランス→執務空間へと幾重にもつながり、それが外観にも現れてくることで、シンボリックな「緑の顔」を演出します。

■ ZEB・CASBEE認証



3次元モデルを活用した施工管理



ケーソン進水仮置作業に3次元モデルを活用して起重機船のアンカリング方法やケーソン吊上げ状況等、一連の作業フローを「見える化」し施工手順のチェックを行いました。

経験の少ない若手職員や作業員は、多様な視点からの状況確認により、各工程における施工イメージを認識しやすくなるため施工プロセスでの業務の効率化が図られました。また、3次元モデルによる説明により工事関係者や港湾関係者との理解が促進され合意形成が迅速化されました。

会社情報

▶ 会社概要 (2024年3月31日現在)

| | |
|------|--|
| 社名 | 株式会社大本組 |
| 創業 | 1907年1月1日 |
| 会社設立 | 1937年12月19日 |
| 資本金 | 52億96百万円 |
| 従業員数 | 787名 |
| 事業内容 | 1. 建築事業 2. 土木事業 3. 浚渫事業 4. 埋立事業 5. 不動産開発事業 6. 技術開発事業 7. 建築土木コンサルタント事業 |
| 本店 | 〒700-8550 岡山市北区内山下1丁目1番13号 |
| 本社 | 〒107-8514 東京都港区南青山5丁目9番15号 青山OHMOTOビル |

▶ 株式の情報 (2024年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 61,500,000株 |
| 発行済株式の総数 | 15,397,140株 |
| 株主数 | 919名 |

▶ 取締役・監査役 (2024年6月26日現在)

| | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 代表取締役社長 執行役員社長 | 三宅 啓一 | 取締役 | 光岡 敬一 |
| 取締役 相談役 | 大藤 強 | 取締役 | 河野 裕行 |
| 取締役 専務執行役員 | 青木 一也 | 常勤監査役 | 吉岡 敬二 |
| 取締役 専務執行役員 | 富塚 照彦 | 監査役 | 田村 政志 |
| 取締役 常務執行役員 | 福武 栄一 | 監査役 | 植村 義人 |
| 取締役 常務執行役員 | 五十嵐 裕 | | |

▶ 株主メモ

| | |
|------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 期末配当金 受領株主確定日 | 3月31日 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |

公告掲載方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL : <https://www.ohmoto.co.jp/kessan/koukoku.html>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.ohmoto.co.jp/>

